

II 岩手県における母子保健事業

1 先天性代謝異常等検査実施状況

先天性代謝異常等を早期に発見し治療することにより、障害の発現を防止するため、新生児についてマス・スクリーニング検査を実施している。

表1 先天性代謝異常検査実施状況 (人)

年度	受付 検体数	アミノ酸・有機酸・脂 肪酸代謝異常症		ガラクトース血症	
		要精検者数	患者数	要精検者数	患者数
平成13年度	13,412	-	-	7	-
14年度	13,066	1	1	18	1
15年度	12,862	-	-	21	-
16年度	12,200	-	-	18	-
17年度	11,617	-	-	13	1
18年度	11,955	1	1	11	-
19年度	11,851	2	-	19	-
20年度	11,745	-	-	25	2
21年度	11,381	-	-	7	-
22年度	11,343	1	1	14	-
23年度	10,873	10	1	17	-
24年度	10,847	11	1	25	1
25年度	10,849	7	1	14	-
26年度	10,529	7	-	6	1
27年度	10,417	5	1	3	-
28年度	9,772	8	3	4	-

※ 昭和53年6月から事業開始

表2 先天性甲状腺機能低下症及び先天性副腎過形成症検査実施状況

年度	受付 検体数	先天性甲状腺機能低下症		先天性副腎過形成症	
		要精検者数	患者数	要精検者数	患者数
平成13年度	13,412	24	6	20	-
14年度	13,066	17	-	85	5
15年度	12,633	12	6	70	1
16年度	12,118	3	2	31	-
17年度	11,563	18	6	22	-
18年度	11,941	14	2	16	-
19年度	11,851	41	4	30	-
20年度	11,745	36	3	26	-
21年度	11,381	13	8	30	4
22年度	11,343	37	4	20	-
23年度	10,873	49	-	19	-
24年度	10,847	35	3	34	1
25年度	10,849	45	7	21	-
26年度	10,529	76	4	40	-
27年度	10,417	80	1	38	1
28年度	9,772	37	10	27	-

※ 先天性甲状腺機能低下症は昭和55年8月から事業開始
先天性副腎過形成症は平成元年4月から事業開始

2 未熟児養育医療給付状況

母子保健法第20条に基づき、入院を必要とする未熟児に対して、養育のための医療給付を行っている。

表3 未熟児養育医療給付状況

	平成18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
給付実人員 (人)	320	335	335	254	275	283	237	318	224	219	201
公費負担額 (千円)	64,862	78,800	70,116	63,788	65,755	69,314	56,025	56,044	60,434	47,450	51,583

※平成20年度以降：盛岡市保健所実績含む

3 自立支援医療(育成医療) 給付状況

児童福祉法第20条に基づき、身体に障害のある児童又は、そのまま放置すると将来障害を残すと認められる疾患を有する児童で、確実な治療効果が期待できる児童に対して医療給付を行っていたが、平成18年4月1日から障害者自立支援法に基づく、自立支援医療制度へ移行した。

なお、平成25年4月1日から「障害者自立支援法」は「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に改正された。

表4 身体障害児育成医療給付状況

	平成18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
給付実人員 (人)	肢体不自由	69	72	84	81	102	126	98	82	84	74	54
	視覚障害	17	17	22	8	20	15	13	0	5	5	13
	聴覚・平衡機能障害	19	14	22	23	29	20	16	21	20	26	32
	音声・言語そしゃく機能障害	154	138	229	219	214	222	210	160	224	152	149
	心臓障害	60	55	63	58	60	58	64	64	90	64	32
	腎臓障害	11	10	18	3	6	1	4	7	1	3	3
	その他の内臓障害	65	49	56	40	37	60	56	51	54	46	47
	免疫機能障害								9	0	0	0
	計	395	355	494	432	468	502	461	394	478	370	330
公費負担額 (千円)	31,881	35,220	24,912	26,991	32,458	37,231	36,592	34,344	32,864	36,800	21,986	

※平成20年度以降：盛岡市保健所実績含む

※養育医療・育成医療については、平成25年4月1日から、県から市町村に事務が移譲された。

4 小児慢性特定疾病医療費助成状況（平成27年1月1日制度改正）

厚生労働大臣が定める慢性疾病にかかっている児童等で、その疾病の程度が一定以上である児童等の保護者に対し、その治療にかかった費用（保険適用分）の一部を公費によって助成するとともに、定められた対象疾病の治療方法等の情報を今後の治療研究に生かすもの。

平成17年4月1日から児童福祉法に基づく事業として法制化され、給付内容の見直し等が行われた。

平成26年5月30日に児童福祉法の一部を改正する法律が公布され、平成27年1月1日から新たな小児慢性特定疾病対策が施行され、医療費助成のほか、小児慢性特定疾病児童等自立支援事業が法定化された。

<事業の概要：平成27年1月1日施行>

- ① 対象年齢 18歳未満の児童（ただし、18歳到達時点で小児慢性特定疾病医療受給者証を有し、かつ引き続き有効な医療受給者証を有する方に限り満20歳未満まで延長可能。）
- ② 根拠法令 児童福祉法
- ③ 実施主体 都道府県・政令指定都市・中核市
- ④ 負担率 1/2（国1/2、都道府県・政令指定都市・中核市1/2）
- ⑤ 自己負担 医療保険単位の世帯で、所得（市町村民税（所得割）の課税額）に応じた一部自己負担あり。

表5 小児慢性特定疾病医療費助成事業給付状況

対象疾患	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度		27年度	28年度
									旧制度		
1 悪性新生物	208	223	193	196	191	189	180	172	57	217	206
2 慢性腎疾患	102	118	126	119	118	125	137	144	54	175	171
3 慢性呼吸器疾患	32	54	50	49	48	50	51	52	15	70	65
4 慢性心疾患	166	207	203	208	221	243	279	298	69	329	322
5 内分泌疾患	404	429	395	395	376	374	379	377	91	381	378
6 膠原病	82	86	82	93	91	75	66	67	21	67	57
7 糖尿病	94	109	91	84	81	84	92	100	48	104	93
8 先天性代謝異常	80	85	78	73	64	62	75	76	21	74	58
9 血液疾患									19	64	49
(9') 血友病等血液疾患	75	73	78	76	70	79	81	84			
10 免疫疾患									0	21	22
11 神経・筋疾患	40	53	58	50	48	52	51	53	24	79	92
12 慢性消化器疾患	38	42	38	37	35	39	32	34	11	58	68
13 染色体又は遺伝子									0	15	16
14 皮膚疾患									0	1	2
計	1,321	1,479	1,392	1,380	1,343	1,372	1,423	1,457	430	1,655	1,599
公費負担額（千円）	286,372	270,290	273,215	244,864	235,201	247,862	297,728	294,706	11,689	309,650	315,703

※平成20年度以降：盛岡市保健所実績含む

※29年度実績について、小慢全体会資料をもとに修正

5 不妊に悩む方への特定治療支援事業費実施状況

平成16年度から子どもを希望しているものの子どもに恵まれない不妊治療を受ける夫婦に対し、不妊治療のうち、保険適用されず治療費が高額である体外受精及び顕微授精について、経済的負担の軽減を図るためその治療費の一部を助成している。

助成件数

(件)

年 度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
件 数	475	564	620	661	824	936	940	1053	866

※平成20年度以降：盛岡市保健所実績含む

指定医療機関数

平成26年3月現在、岩手県内2カ所（岩手医科大学附属病院、さくらウィメンズクリニック）

※ 岩手県外の医療機関については、他の都道府県等が母子保健医療対策等総合支援事業実施要綱の規定に基づき特定不妊治療を実施するのに適当であると認めている場合は岩手県知事が指定した医療機関とみなすこととしている。

6 生涯を通じた女性の健康支援事業実施状況

女性は、妊娠、出産等固有の機能を有するだけでなく、女性特有の身体的特徴を有することにより、さまざまな支障や心身にわたる悩みを抱えていることから、生涯を通じた女性の健康の保持増進を図るため次の事業を行っている。

(1) 事業内容

- ① 健康教育事業
各保健所で健康教室・講習会等の健康教育事業を実施
- ② 女性健康支援センター事業
各保健所で身体・精神的な悩みを有する女性等の相談指導を実施
県央保健所で結婚、妊娠、出産の不安等、遺伝に係る相談の対応として遺伝相談事業を実施
- ③ 不妊専門相談センター事業（委託事業）
岩手医大に設置したセンターで不妊・不育に関する専門相談及び研修会を実施
- ④ HTLV-1母子感染対策事業
感染を防ぐ体制の整備を図り、地域におけるHTLV-1感染対策を推進するため、協議会の設置及び研修会等を開催

表6 生涯を通じた女性の健康支援事業実施状況

事業名	健康教育事業				女性健康支援センター事業 (個別相談)		不妊専門相談センター事業	
	健康教室		講演会		相談件数	(再掲) 思春期 相談件数	研修会 参加人員	相談件数
	回数等	参加人員等	回数等	参加人員等				
21年度	17回	1,002人	9回	1,988人	155件	87件		155件
22年度	28回	1,845人	5回	1,289人	159件	97件	31	163件
23年度	30回	4,825人	1回	21人	71件	39件	35	142件
24年度	35回	4,756人	9回	253人	143件	47件	34	163件
25年度	45回	4,433人	3回	208人	100件	31件	51	148件
26年度	69回	8,074人	0回	0人	64件	26件	49	136件
27年度	41回	3,304人	0回	0人	71件	15件	47	156件
28年度	40回	3,478人	1回	240人	78件	10件	26	62件

○HTLV-1母子感染対策事業

- ・岩手県HTLV-1感染対策協議会：年1回開催
- ・医療従事者等研修会：年1回開催

(※ HTLV-1キャリア等への医療・相談支援体制の概要については、P32参照)

(2) 遺伝相談実施状況（再掲）

表7 遺伝相談事業件数

	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
一次相談	14件	10件	10件	6件	13件	13件	1件	8件	10件
二次相談	10件	16件	9件	3件	5件	9件	3件	3件	5件

※ 遺伝相談事業

昭和62年度から県央保健所において、保健師による一次相談（随時）と、専門医師による二次相談を毎月1回実施

7 新生児聴覚検査事業実施状況

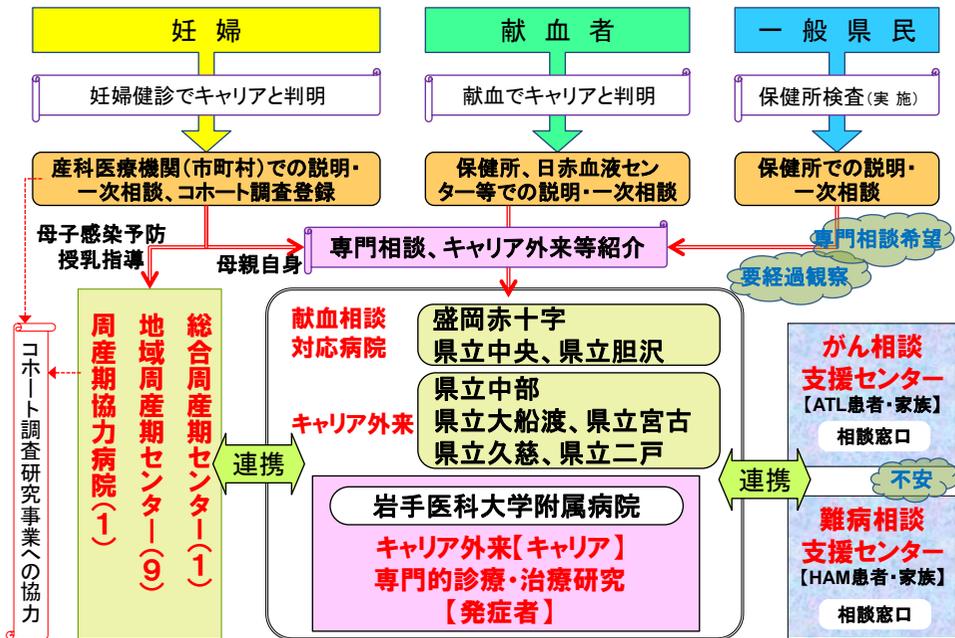
聴覚障がい早期発見・早期支援に有効な新生児聴覚検査を県内全ての新生児が受けることができるよう実施体制の充実を図ることを目的として、平成25年度に新生児聴覚検査体制等に係る検討委員会（以下「委員会」という。）を設置した。

○新生児聴覚検査事業（※ 検査体制(案)及び検査医療機関の分布図については、P33～34参照）

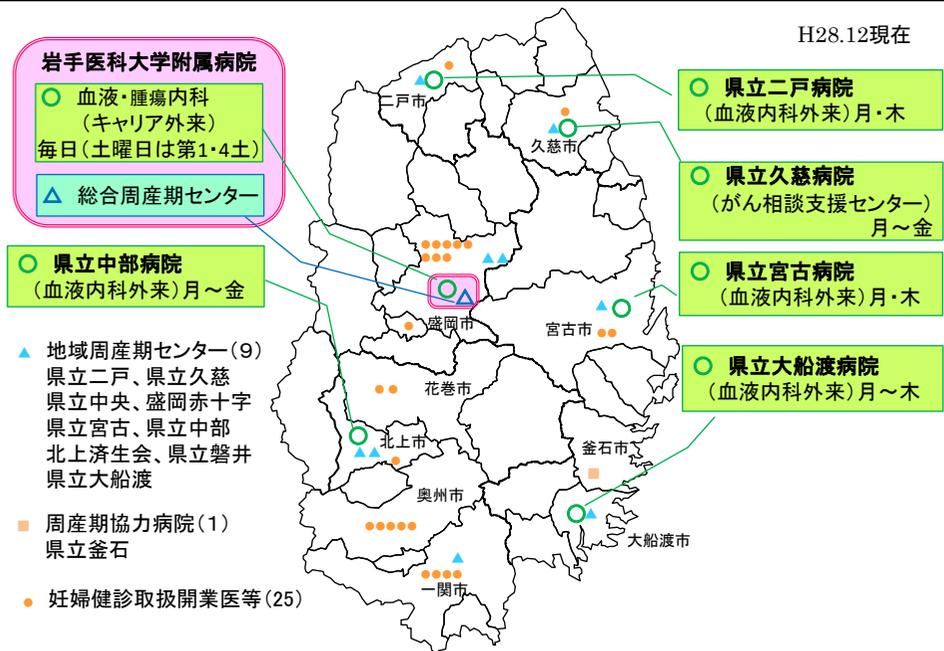
- ・岩手県新生児聴覚検査体制等に係る検討委員会：年1回開催（構成員数13名）
- ・県内の新生児聴覚スクリーニング検査実施医療機関（医療機関数）

	平成25年度	26年度	27年度	28年度
実施	30	31	30	30
未実施	6	3	2	2
実施率(%)	83.3	91.2	93.8	93.8

HTLV-1キャリア等への医療・相談支援体制（目指す姿）



HTLV-1キャリアに関わる医療機関の分布図



新生児聴覚検査実施医療機関の分布図

<精密検査医療機関>

◎ 岩手医科大学附属病院

- ▲ 県立中央病院
- ▲ 盛岡赤十字病院
- 今井産婦人科内科クリニック
- 産婦人科内科幸クリニック
- 西島産婦人科医院
- みうら産婦人科内科医院
- 産婦人科吉田医院
- 村井産婦人科外科医院
- 黒川産婦人科医院

● やはば産婦人科

- 工藤医院
- KUBOクリニック

- ▲ 県立中部病院
- ▲ 北上済生会病院
- 齋藤産婦人科医院

- 小見産婦人科
- 滝田医院
- 平間産婦人科医院
- 産婦人科いなお医院

H29.9 子ども子育て支援課 集計結果
31医療機関中、30施設実施、1施設未実施



▲ 県立二戸病院

▲ 県立久慈病院

- ▲ 県立宮古病院
- 松井産婦人科医院
- 伊東産婦人科医院

▲ 県立釜石病院

▲ 県立大船渡病院

- ▲ 県立磐井病院
- ▲ 一関病院
- コモスレディースクリニック

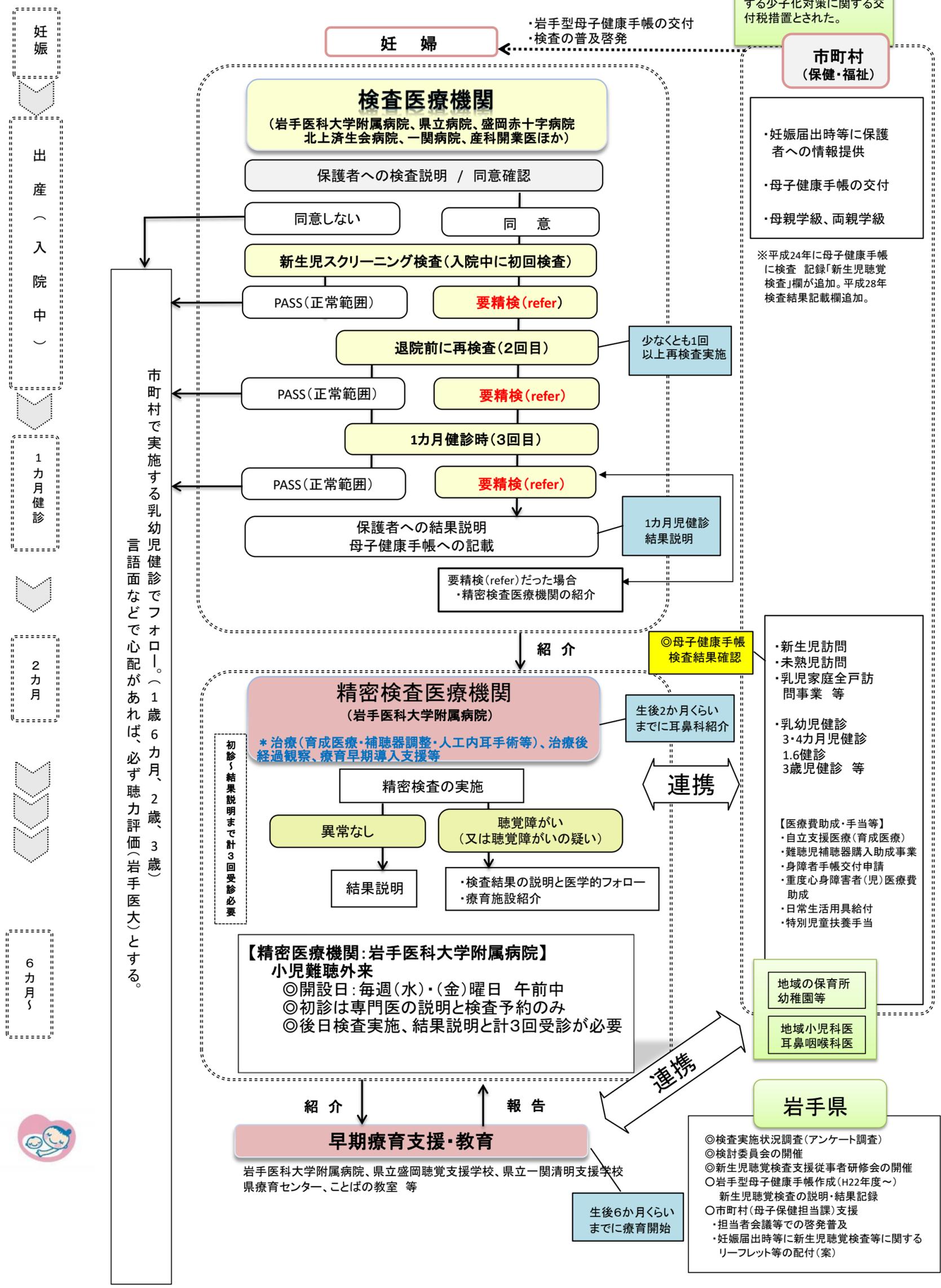
<参考>県外の精密検査医療機関

青森県(1か所): 弘前大学医学部附属病院
 宮城県(4か所): 東北大学病院、仙台赤十字病院、宮城県医師会セキヤクグセンター、大崎市立病院
 秋田県(2か所): 秋田大学医学部附属病院、昭和会中通総合病院

(注)一般社団法人 日本耳鼻咽喉科学会のホームページから抜粋

【凡例】
 ◎: 精密検査医療機関 ▲: 県立病院等 ●: 分娩取扱開業医

岩手県内医療機関における新生児聴覚検査体制 (H26.8月作成) ※H29.1修正版



8 周産期医療対策の状況

診療体制の整備された分娩環境や未熟児に対する最善の対応など、充実した周産期医療に対する需要の増加に因應するため、地域において妊娠、出産から新生児に至る高度専門的な医療を効果的に提供する総合的な周産期医療体制を整備し、安心して子どもを生み育てることができる環境づくりの推進を図っている。

(※岩手県周産期医療対策の概要については、次ページ参照)

総合周産期母子医療センターの稼動状況

(1) 母体・胎児集中治療管理室 (MFICU) への搬送状況

表9 母体・胎児集中治療管理室への搬送状況の推移

(実件数)

	平成20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
搬送件数	96	89	124	166	126	119	117	93	123

表10 理由別搬送状況

(延件数)

理由 (重複あり)	平成20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
前期破水	19	16	28	18	20	22	19	7	11
破水疑い	4	2	0	0	0	0	0	5	7
切迫早産	44	47	67	74	59	58	50	35	57
妊娠高血圧症	9	9	16	24	16	13	15	10	9
骨盤位	4	3	2	8	6	5	6	0	6
羊水過多	3	1	3	2	4	2	1	0	7
羊水過少	2	2	7	7	7	4	3	2	2
前置胎盤	5	3	9	4	4	3	6	1	6
常位胎盤早期剥離	5	2	5	4	7	1	5	3	1
羊水塞栓症	0	0	0	0	0	0	1	0	0
子宮内胎児発育遅延	6	8	14	16	10	11	10	8	6
胎児形態異常	0	3	8	8	2	2	2	3	11
多胎	9	10	11	8	9	6	1	10	7
胎児仮死	2	5	0	0	0	0	0	5	2
糖尿病合併妊娠	0	0	4	1	2	0	0	1	1
Rh不適合妊娠	0	0	0	1	0	0	0	0	0
分娩時出血	4	3	6	10	4	3	2	6	7
その他	12	10	16	38	21	19	20	37	49

(2) 新生児集中治療管理室 (NICU) への搬送状況

表11 新生児集中治療管理室への搬送状況の推移

(件)

NICUへの搬送元	平成20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
新生児搬送	45	37	30	21	32	26	26	25	36
MFICUで出生	107	89	107	101	100	89	98	98	94
岩手医大で出生	37	30	15	22	18	17	35	15	20
合計	189	156	152	144	150	132	159	138	150

表12 理由別搬送状況

(件)

理由 (重複あり)	平成20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
極低出生体重児	76	63	70	60	58	56	65	59	55
RDS(呼吸窮迫症候群)	77	69	56	29	48	48	40	51	45
多胎	31	32	30	21	32	22	17	9	22
Small-for-dates (SFD)	36	26	25	32	23	15	32	28	25
Light-for-dates (LFD)	2	5	9	3	1	0	2	1	8
先天性心疾患	31	25	31	24	19	23	26	22	16
感染症	12	14	9	5	8	4	5	1	4
奇形/先天異常	61	40	51	47	44	24	53	35	39
その他	24	21	23	16	34	29	23	31	19

周産期医療体制



ハイリスク

- 総合周産期母子医療センター（県内1か所）
- リスクの高い妊娠に対する医療及び高度な新生児医療
 - MFICUを含む産科病棟及びNICUを含む新生児病棟を具備
 - 県下各地域からの搬送の受け入れ
 - 周産期医療体制の中核として周産期医療関連施設と連携

<周産期医療圏>

母体・新生児搬送

軽快

連携

中・低リスク

- 地域周産期母子医療センター（4周産期医療圏に相当数）
地域周産期母子医療センター協力病院
- 周産期に係る比較的高度な医療
 - 産科（緊急帝王切開）及び小児科（新生児医療）を提供
 - 救急搬送や戻り搬送の受入等周産期医療関連施設との連携
 - 正常分娩に対応

岩手県周産期医療情報ネットワークを活用した連携による妊産婦のサポート
遠隔妊婦健診
診療情報の共有
モバイルCTG等

母体・新生児搬送

連携

低リスク

病院・診療所

- 主に正常分娩への対応
- 妊婦健診を含めた分娩前後の診療
- 妊産婦のメンタルヘルスへの対応
- リスクの低い帝王切開術の対応

助産師外来等

- 妊婦健診・保健指導

院内助産

- 正常分娩

市町村

- 妊婦健診・保健指導

施設名	医療機関名			
ハイリスク 総合周産期母子医療センター	岩手医科大学附属病院			
中・低リスク 地域周産期母子医療センター	盛岡・宮古	岩手中部・胆江・両磐	気仙・釜石	久慈・二戸
周産期母子医療センター協力病院	県立中央病院 盛岡赤十字病院 県立宮古病院	県立中部病院 北上済生会病院 県立磐井病院	県立大船渡病院 県立釜石病院	県北地域周産期母子医療センター 県立久慈病院 県立二戸病院
低リスク				
病院				
診療所	診療所(10)	診療所(8)	診療所(0)	診療所(0)
助産所	院内助産(1)・助産師外来(4)	院内助産(0)・助産師外来(3)	院内助産(1)・助産師外来(2)	院内助産(0)・助産師外来(1)